



ニッコウキスゲの謎!

☆本当に一日一輪の花が咲き、散っていくのか?☆

ニッコウキスゲの花は、一日に一輪咲かせていくと図鑑に載っていました。本当かどうか、郷土館の花壇に咲いているニッコウキスゲで調べてみました。



6月9日(水)午前8時

右側の茎には、しぼんだロート状(しょうご)の花びらが3つ。つぼみが3つありました。

左側の茎には、花が1つ、つぼみが5つありました。



6月10日(木)午前8時

右側の茎の1番が咲き、2番はつぼみが大きく膨らみました。

左側の茎の丸で囲んだつぼみが咲きました。昨日咲いていた花びらはしぼんでしまいました。



6月11日(金)午前8時

右側の茎の1番に続き、2番が咲きました。まだ、1番は花を閉じ始めたところです。

左側の茎の丸で囲んだ昨日咲いた花びらは、元気がなくしぼみ始めていますが、まだ、咲いています。奥のつぼみが咲く準備をしています。



6月17日(木)午前8時 最後の一輪

【まとめ】ニッコウキスゲの花は、1本の茎の上のところどころが二つに分かれ、つぼみを3つから4つつけていました。一日に一つずつ花を咲かせ、一日か二日で、しぼんでいきますが、だいたい一日に一輪ずつ咲かせていました。全体として花期が長く、見ごたえがありました。種から花が咲くまで約7年かかるそうです。ふるさとの花を大切に守っていききたいですね。